

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 20年 4月
(第14～17週)

発行年月日：平成20年(2008年) 5月14日
発行 行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年		感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年					
		1～3月	4月	1～12月	1～12月			1～3月	4月	1～12月	1～12月				
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0				
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	1	0	1	98			
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	10			
	南米出血熱(*)	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0			
	ペスト	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0			
	マールブルグ病	0	0	0	0		鼻疽(*)	0	0	0	0	0			
	ラッサ熱	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	0	1			
二類	急性灰白髄炎	0	1	0	0	ベネズエラウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0				
	結核(*)	57	5,323	22	1,991	ヘンドラウイルス感染症(*)	0	0	0	0	0				
	ジフテリア	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0				
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	3				
三類	コレラ	0	6	0	10	マラリア	1	9	0	2	1	52			
	細菌性赤痢	0	75	0	13	野兔病	0	2	0	0	0	0			
	腸管出血性大腸菌感染症	2	236	2	75	ライム病	0	1	0	0	0	12			
	腸チフス	0	13	0	3	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0			
四類	パラチフス	0	6	0	6	1	22	リフトバレー熱(*)	0	0	0	0	0		
	E型肝炎	0	12	0	4	1	54	類鼻疽(*)	0	0	0	0	0		
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レジオネラ症	2	180	0	53	8	655	
	A型肝炎	0	47	0	11	1	154	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	34	
	エキノコックス症	0	4	0	1	0	16	ロッキー山紅斑熱(*)	0	0	0	0	0	0	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	五類	アメーバ赤痢	1	189	1	73	15	781
	オウム病	0	0	0	0	0	30	ウイルス性肝炎	1	46	1	18	2	231	
	オムスク出血熱(*)	0	0	0	0	0	0	急性脳炎	0	60	0	13	2	216	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0	0	2	0	6	
	キャサヌル森林病(*)	0	0	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	30	0	13	4	148	
	Q熱	0	1	0	0	0	7	劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	1	33	0	9	1	96	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	後天性免疫不全症候群	3	313	1	132	9	1,449	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	3	ジアルジア症	1	18	0	7	1	56	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	髄膜炎菌性髄膜炎	0	5	0	0	0	17	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	
	西部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	0	梅毒	1	173	0	46	2	714	
	ダニ媒介脳炎(*)	0	0	0	0	0	0	破傷風	0	14	1	6	0	88	
炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0		
つつが虫病	0	38	0	11	0	370	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	15	0	11	0	80		
デング熱	1	13	0	5	1	89	風しん	0	108	0	38	-	-		
東部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	0	麻しん	1	5,083	4	1,598	-	-		
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0									

(*)：平成19年4月1日から集計 -：平成19年は定点把握対象疾患のため未集計

滋賀県における全数報告 感染症の概要(4月)

<結核>

性別：男性 17名、女性 5名
 類型：患者 14名、疑似症患者 2名
 無症状病原体保有者 6名
 病型：肺結核 12名、その他の結核 10名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別：女性 2名 年齢：23歳、31歳
 血清型・毒素型：O145・VT2 1名
 O157・VT1&VT2 1名

推定感染経路は2名とも経口感染で、
 1名は生レバーを喫食しています。

<アメーバ赤痢> 男性62歳

推定感染経路はその他で、推定感染
 地域は日本国内です。

<ウイルス性肝炎> 女性33歳

推定感染経路は異性間性的接触で、
 推定感染地域はフィジーです。また、病
 型はB型肝炎です。

<後天性免疫不全症候群> 男性39歳

無症状病原体保有者で、推定感染経
 路は不明で、推定感染地域は日本国内
 です。

<破傷風> 男性71歳

推定感染経路は創傷感染で、推定感
 染地域は日本国内です。

<麻しん>

性別：男性 1名、女性 3名
 年齢：3歳、18歳、22歳、24歳
 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染3名、
 不明1名で、推定感染地域は全員日本国
 内です。ワクチン接種歴は3名が無しで、
 1名は1回目のみ接種です。

*1 検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

4月の概要

<インフルエンザ>

第14週(3/31～4/6)の定点当たり患者数は0.47となり、滋賀県内におけるインフルエンザの流行はほぼ終息しました。

<小児科定点疾患>

各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりですが、増加した疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、百日咳および手足口病で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎等でした。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによると、咽頭結膜熱(プール熱)では第16週(4/14～4/20)に高島保健所管内で急増し警報開始基準値(2.0)を超えました。感染性胃腸炎では第15週(4/7～4/13)に長浜保健所管内で警報開始基準値(20.0)を超え、第17週(4/21～4/27)まで警報継続基準値(12.0)を超えていました。水痘では第15週に甲賀保健所管内で注意報発生基準値(4.0)を超えていました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少し、急性出血性結膜炎は大津から報告されていました。また、基幹定点疾患である無菌性髄膜炎およびマイコプラズマ肺炎は長浜から報告されていました。細菌性髄膜炎およびクラミジア肺炎の報告はありませんでした。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定し、その基準値を超えた時に流行発生警報(警報)あるいは流行発生注意報(注意報)という表現により流行状況を示しています。

流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

警報・注意報の基準値

対象疾患	警 報		注意報 基準値
	開始基準値	継続基準値	
咽頭結膜熱(プール熱)	2.0	0.1	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	7.0	4.0	4.0

基準値は定点当たり患者数(人)

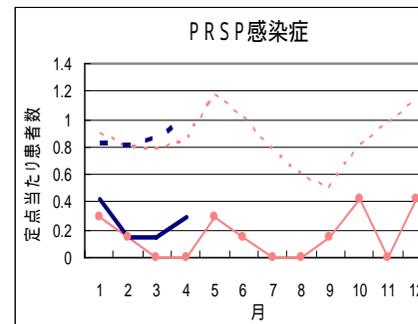
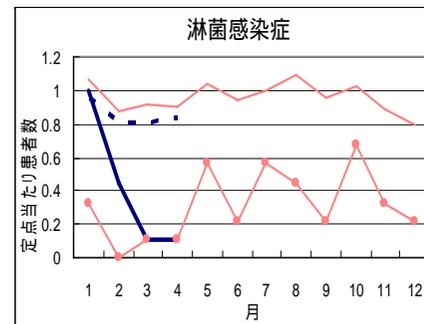
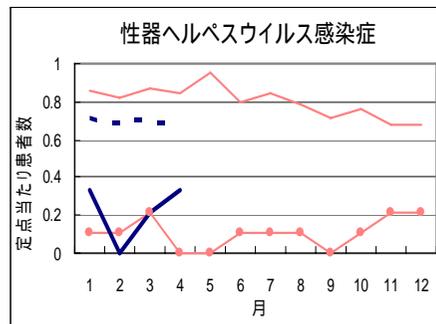
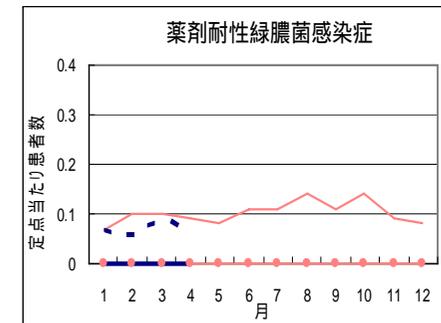
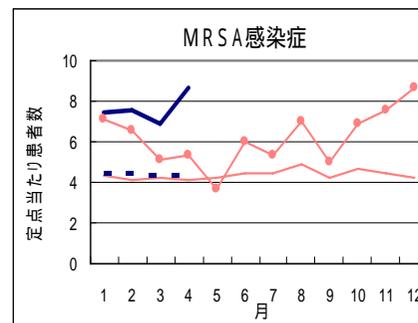
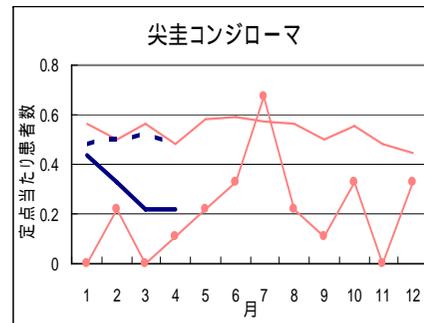
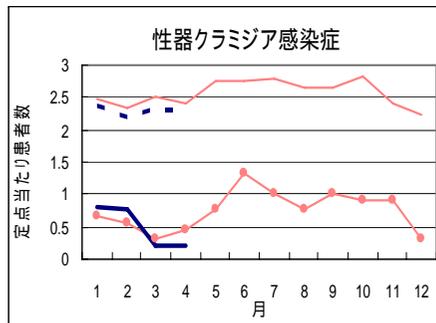
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成20年 4月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	7	7	2	2									18
	定点当たり	0.78	0.78	0.22	0.22									2.00
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	0	2	3									8
	定点当たり	0.33	0	0.22	0.33									0.88
尖圭コンジローマ	罹患数	4	3	2	2									11
	定点当たり	0.44	0.33	0.22	0.22									1.21
淋菌感染症	罹患数	9	4	1	1									15
	定点当たり	1.00	0.44	0.11	0.11									1.66
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	52	53	48	61									214
	定点当たり	7.43	7.57	6.86	8.71									30.57
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	3	1	1	2									7
	定点当たり	0.43	0.14	0.14	0.29									1.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0									0
	定点当たり	0	0	0	0									0

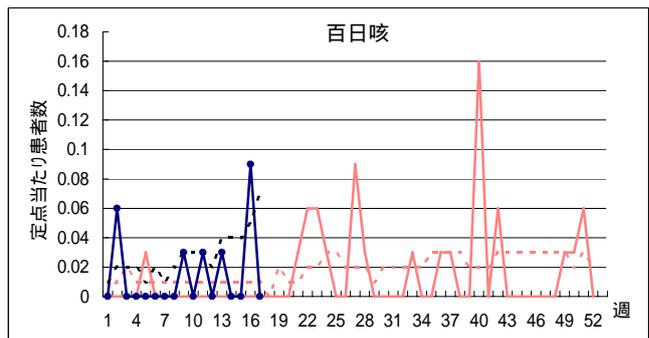
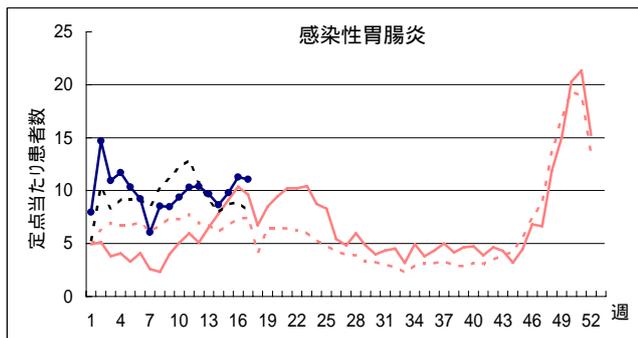
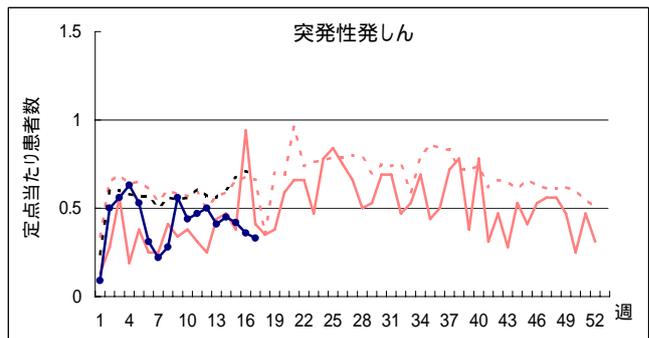
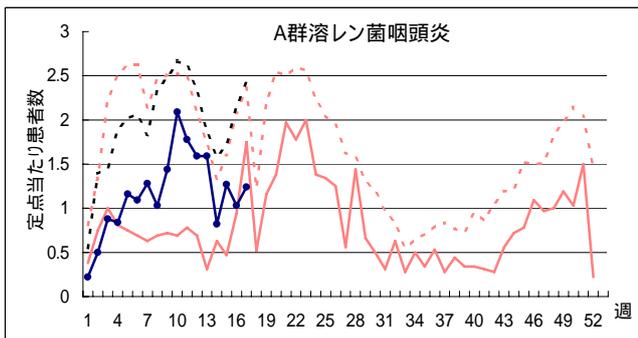
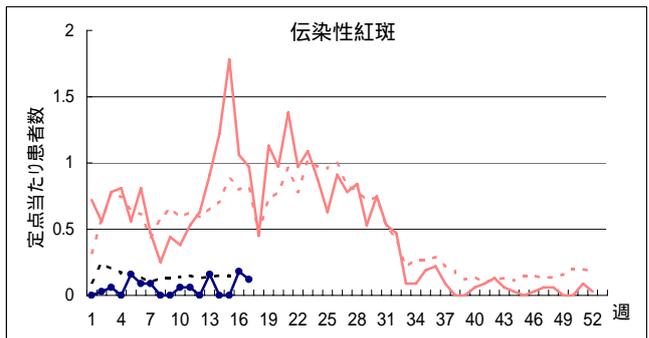
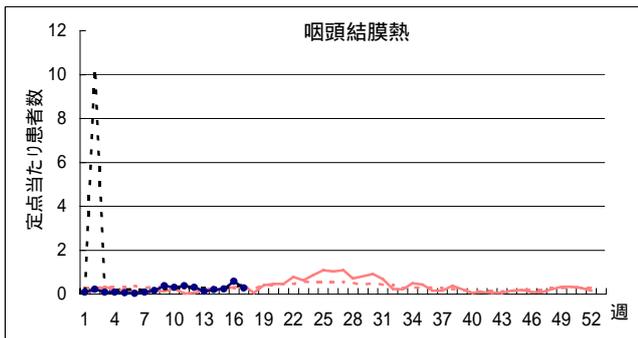
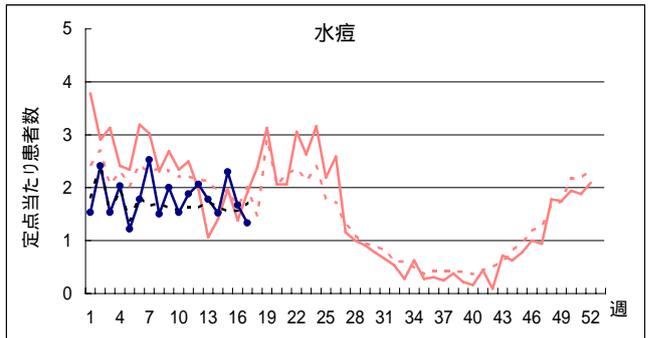
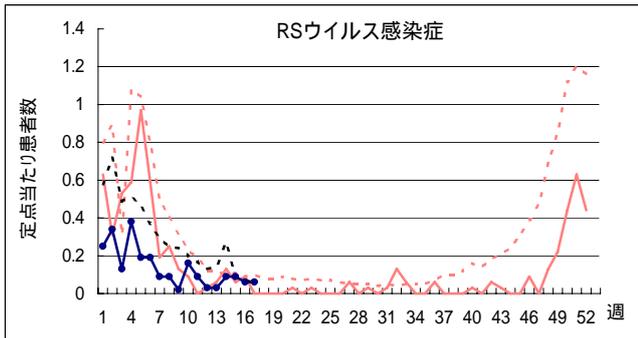
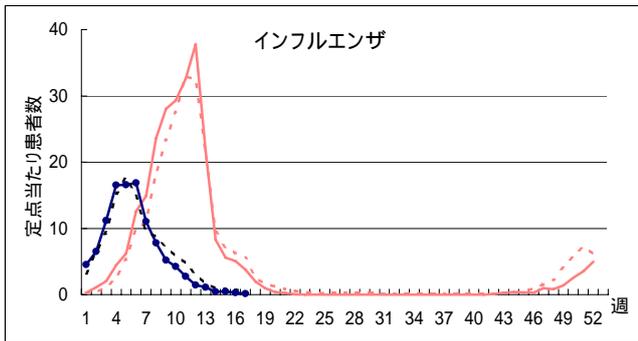


戻る

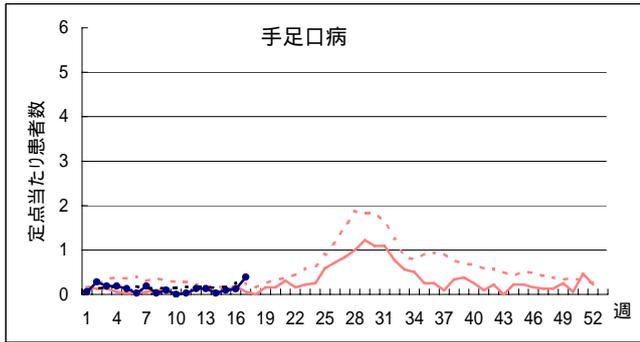
H19 { 滋賀 (赤線)
全国 (赤点線)
H20 { 滋賀 (青線)
全国 (青点線)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成20年第17週、H19.12.31~H20.4.27)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第17週、H19.12.31～H20.4.27)



H19
 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H20
 滋賀 ●●●●●
 全国

